

個人投資家さま向け会社説明会

2006年8月4日



AEON CREDIT SERVICE CO.,LTD.

- 1.イオンクレジットサービスについて
- 2.クレジットカード業界の成長性
- 3.今期の取り組み
- 4.海外事業について
- 5.株主さまへの利益還元について

「イオンクレジットサービス」について

当社のご紹介

■当社はイオン㈱を中心とする国内最大級の流通グループの中で
金融サービス事業を展開しております。



- 1981年
日本クレジットサービス株式会社として会社設立
- 1994年
イオンクレジットサービス株式会社に社名変更、株式会社頭公開
- 1995年
AEON CREDIT SERVICE(ASIA)が香港証券取引所へ株式上場
- 1996年
東京証券取引所市場第二部に上場
- 1998年
東京証券取引所市場第一部に指定
- 2000年
「イオンカード」を発行
- 2001年
AEON THANA SHINSAP(THAILAND)PLC.がタイ証券取引所へ株式上場
- 2003年
業界初となる年会費無料の「イオンゴールドカード」を発行

■全国のグループ店舗網を活用して会員募集を展開しております。

<総合スーパー>



435店舗

<スーパーマーケット>



702店舗

<コンビニエンスストア>

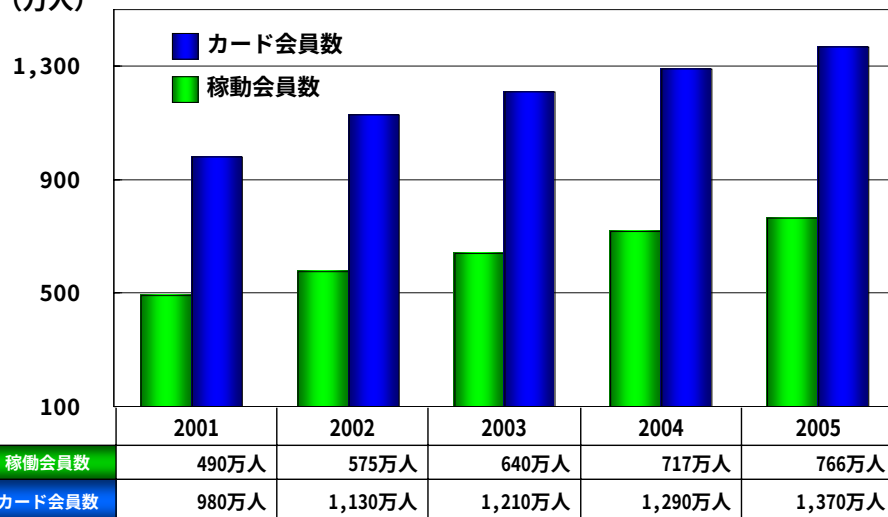


1,641店舗

カード会員数の推移

■会員数は毎年約100万人規模で増加しており、2005年度では1,370万人となっております。

(万人)



提携カードの発行

■グループ内外での提携カードを50種類以上発行しております。



マイカル



トイザらス



阪神高速



マクドナルド



ソフトバンクホークス



サンエックス

様々なカード特典のご提供

年会費無料

イオンゴールドカード
ETCカードを含む当社発行
すべてのカード年会費無料



カード割引特典

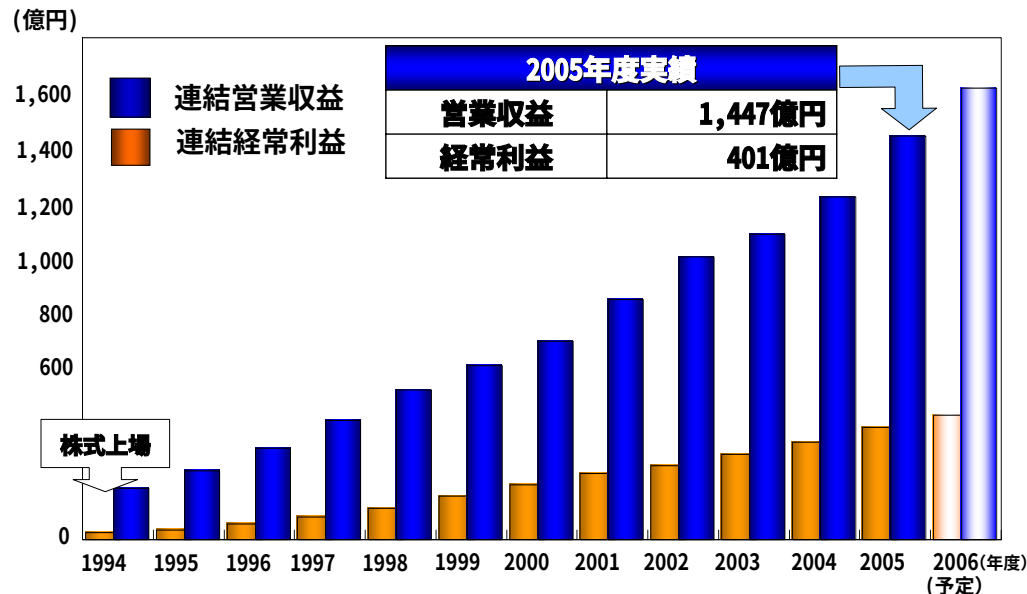
毎月20・30日イオンでの
5%お客様感謝デー割引
「パースデーパスポート」の送付

ポイントプログラム

ときめきポイントクラブの発足
ボーナスポイントの付与

1 2 期連続増収増益

■株式上場以来、1 2 期連続で増収増益を継続しております。



業界内順位

【取扱高別業界順位】	
順位	会社名
1位	J C Bグループ
2位	クレディセゾン (U C 含む)
3位	V I S A ジャパン
4位	U F J ニコス
5位	D C グループ
6位	イオンクレジットサービス
7位	OMCカード
8位	オリエントコーポレーション
9位	J A L カード
10位	トヨタファイナンス

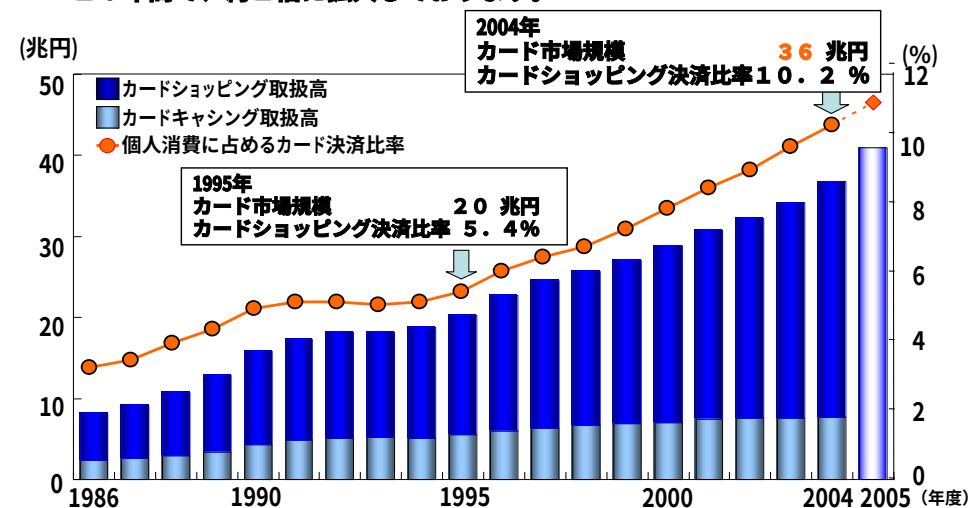
【会員数順位】	
順位	会社名
1位	J C Bグループ
2位	クレディセゾン (U C 含む)
3位	V I S A ジャパン
4位	U F J ニコス
5位	イオンクレジットサービス
6位	ライフ
7位	オリエントコーポレーション
8位	D C カードグループ
9位	セントラルファイナンス
10位	OMCカード

※月刊「消費者信用」より (2004年版)

クレジット業界の成長性

市場規模の推移

■カード市場規模、カードショッピング決済比率ともに、1995年からの10年間で、約2倍に拡大しております。



出所：内閣府「国民経済統計」、平成18年度版 日本の消費者信用統計

拡がるクレジット決済分野

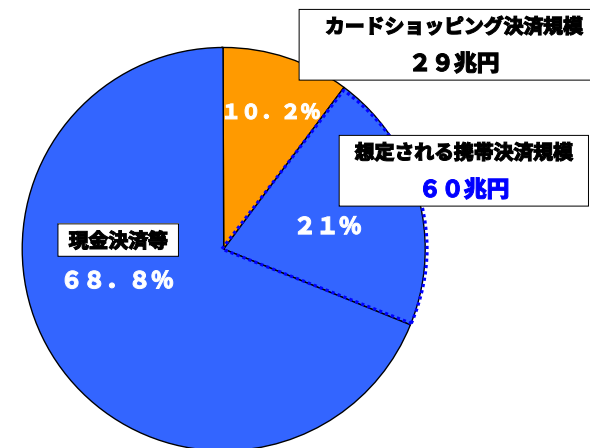
■日常生活の中でクレジットカードが利用できる決済分野が拡大



小額決済分野の開拓

■お客様のニーズに対応し、決済機能を多様化することにより、当社カードの携帯率の向上、小額決済分野の開拓を目指します。

＜民間消費決済分野の比率＞



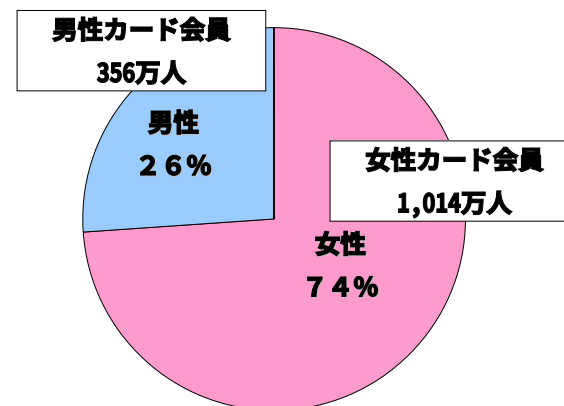
出所：内閣府「国民経済統計」、
平成18年度版 日本の消費者信用統計をもとに当社推計

今期の取り組み

女性に支持されるカード

■当社のカードは女性が保有される率が高く、
「女性を選ぶ顧客満足度(企業)」において第1位を獲得しております。

＜当社カード会員男女比＞

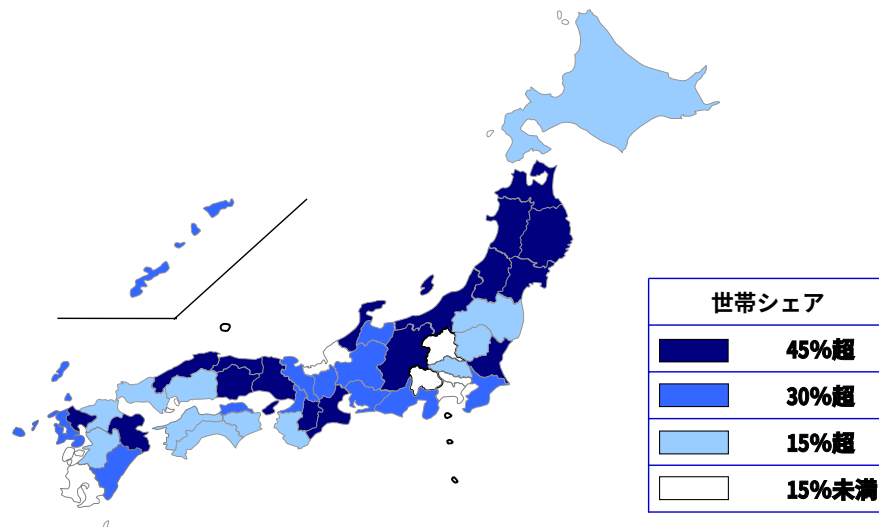


『週刊ダイヤモンド』
女性を選ぶ顧客満足度(企業)

1位	イオンクレジットサービス
2位	クレディセゾン
3位	三井住友カード
4位	J C B
5位	D C カード

地域別世帯シェア

■当社カードの地域別世帯シェアについては、グループの店舗網に比例して分布しており、全国平均は約30%となっております。



コスモ石油との提携

■2006年7月より「コスモ・ザ・カード・オーパス」の発行を開始いたしました。

全国 約4,500店舗



- ・給油割引・・・・・・・・・・カード決済時にガソリン給油1Lあたり基本は2円の値引き
- ・入会割引・・・・・・・・・・ガソリン50Lまで1Lあたり10円をキャッシュバック
- ・ときめきポイントクラブ・・・・イオンカードをコスモ石油で利用するとときめきポイントが2倍

新たな顧客層の開拓

■下記企業との提携により、当社が補完すべき顧客層の開拓を目指します。



NTTドコモとの提携

■2006年9月より、携帯クレジット「iD」のサービス開始を予定しております。



イオンカードの情報を
携帯電話に登録する



イオンカードの情報が
携帯電話に入った
携帯電話をかざして支払いする

J R東日本との提携

■2007年1月より「イオンSuicaカード」の発行を予定しております。



イオンカード
女性会員:74%
男性会員:26%

View/Suicaカード
女性会員:26%
男性会員:74%

※View/Suicaカード構成比は2005年12月時点

AEON CREDIT SERVICE CO.,LTD. 21

海外事業の状況

■海外のカード会員数は、239万人を突破（2006年2月20日現在）

・タイ 139万人 ・香港 87万人 ・台湾 10万人 ・マレーシア 3万人



■アジアでの事業展開

	日本	タイ	香港	台湾	マレーシア	中国	インドネシア
AEON	◎	◎	◎	○	○	□	□

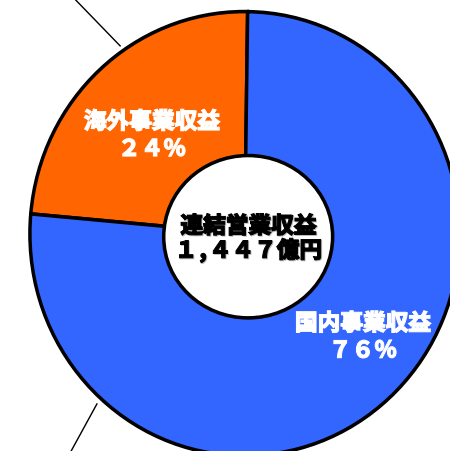
◎ 株式上場＆カード発行 ○ 自社カード発行 □ 個人向け金融事業

海外事業収益の構成比

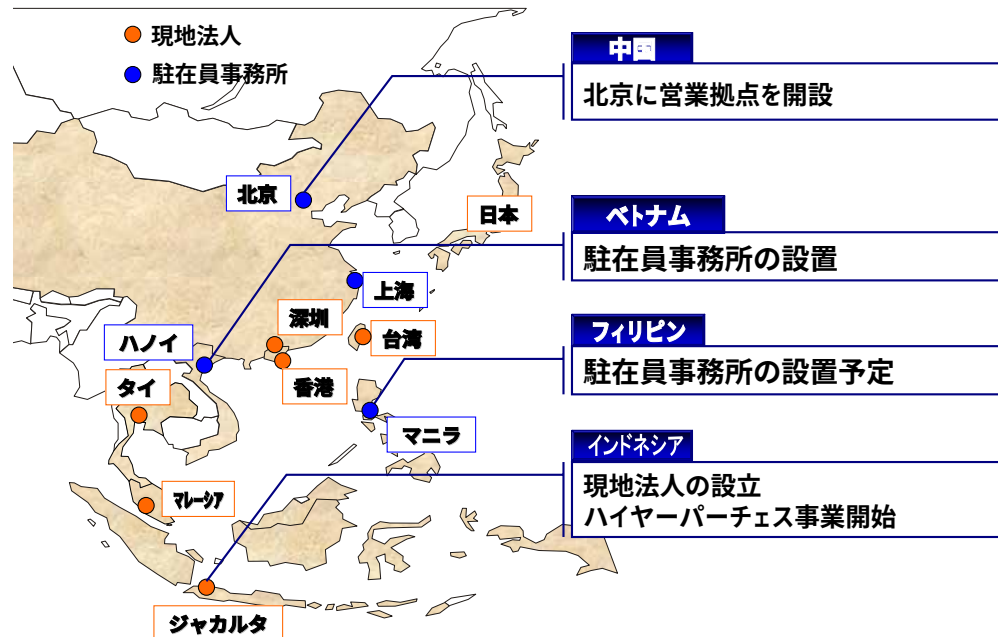
■海外事業での収益は、当社連結営業収益の約4分の1となっております。

海外事業
営業収益: 335億円 (2005年度)
① クレジットカード事業
② 個品斡旋事業
③ コールセンター事業
＜展開地域＞
香港、タイ、マレーシア、台湾
深圳 (中国)、インドネシア、ベトナム

国内事業
営業収益: 1,112億円 (2005年度)
① クレジットカード事業
② 保険代理店事業
③ サービサー事業



今後の海外事業の展開



2007年2月期業績予想

■連結・単独ともに13期連続の増収増益を計画しております。

【業績予想】

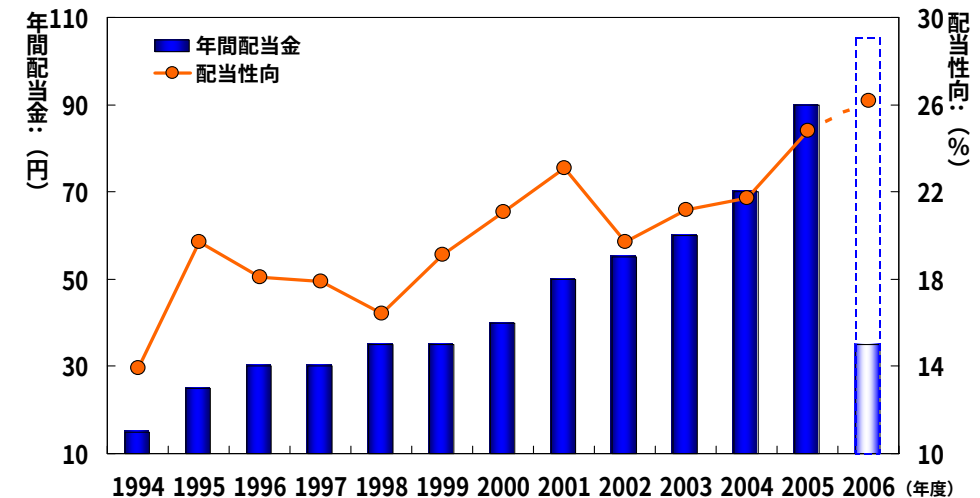
	連結業績予想	前期比	単独業績予想	前期比
取扱高	2兆4,800億円	114%	2兆2,000億円	113%
営業収益	1,620億円	112%	1,230億円	112%
経常利益	445億円	111%	362億円	111%
当期純利益	238億円	112%	210億円	110%

株主さまへの利益還元について

配当金・配当性向の推移

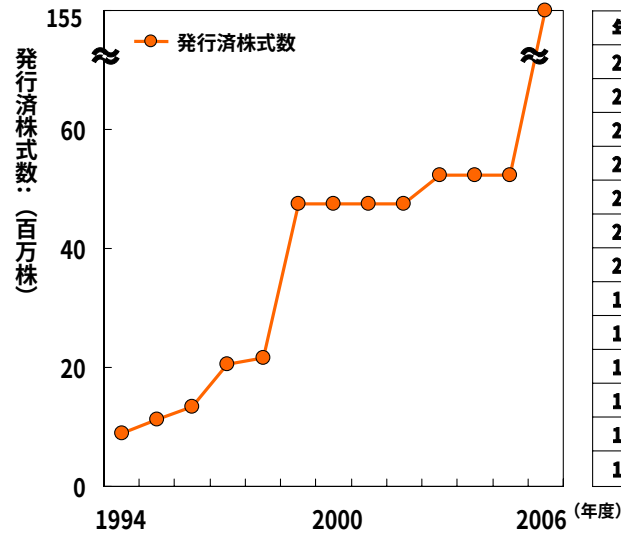
■2006年度は、年間配当金35円、配当性向26.2%を予定しております。

※2006年2月21日付けで実施いたしました1:3の株式分割前に置き換えますと年間配当金は105円となります。
下記棒グラフにおける2006年度の点線は株式分割前の105円を表しております。



株式分割と発行済株式数の推移

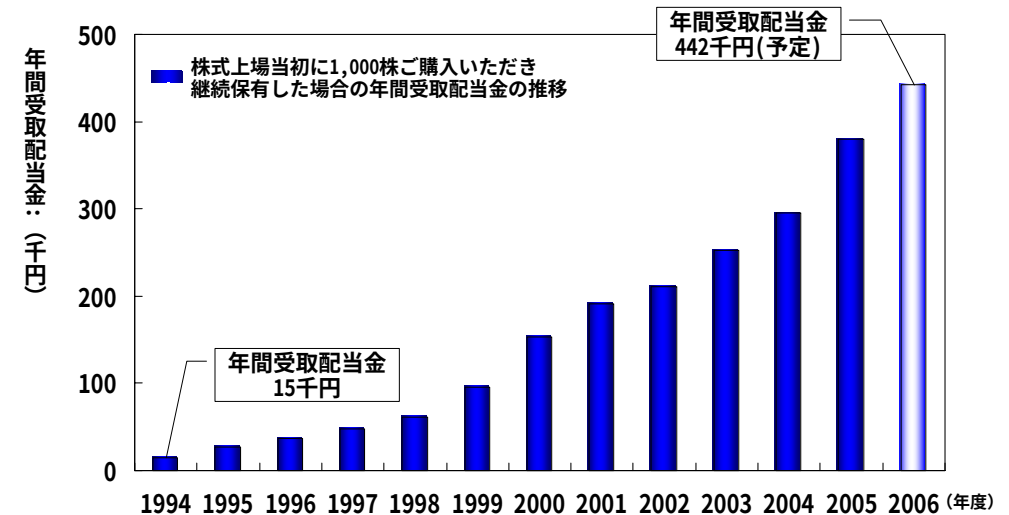
■株主様への利益還元を目的とし、これまでに合計8回の株式分割を実施しております。



年度	発行済株式数	株式分割
2006	156,967,008	1：3.0
2005	52,322,336	—
2004	52,322,336	—
2003	52,322,336	1：1.1
2002	47,565,760	—
2001	47,565,760	—
2000	47,565,760	—
1999	47,565,760	1：1.1, 1：2.0
1998	21,620,800	—
1997	20,620,800	1：1.2, 1：1.2
1996	13,320,000	1：1.1
1995	11,200,000	1：1.1
1994	9,000,000	—

年間受取配当金の推移

■株式上場当初から1,000株を継続保有いただいた場合、増配と株式分割により、年間の受取配当金額は15千円から442千円に拡大する予定です。



事業等のリスク

■以下に記載する事項は、当社の事業に関して、リスク要因となり、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる事項です。なお、以下の記載事項は、当社の事業に関する全てのリスクを網羅的に記述するものではありません。

事業等のリスク	想定される影響等
① 法的規制等	適用金利の低下等
② 個人情報漏洩等	個人情報保護法による罰則処分等
③ 資金調達、調達金利の変動等	借入条件の悪化等
④ 貸倒れについて	貸倒費用の増加等
⑤ システム運用等	事務処理への支障等
⑥ 海外事業等	展開地域の業績悪化等
⑦ 主要な提携先等における会員数の拡大	出店方針や既存店の撤退等
⑧ 競争激化	事業、財務状況への悪影響等

AEON CREDIT SERVICE CO.,LTD.

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。